

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(1) ①	選択式	2分	易

未来小学校の6年生に、「新体力テスト」の結果について先生からお話がありました。

先生: 次のグラフは、今年度の全国の結果です。みなさんはこれを見て、どんなことに気づきますか。

【資料1】体力合計点の年度ごとの変化

性別	平成20	平成21	平成22	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和3
男子	54.2	54.2	54.4	54.1	53.9	53.9	53.8	53.9	54.2	54.2	53.6	52.5
女子	54.9	54.6	54.9	54.9	55.0	55.2	55.5	55.7	55.9	55.6	54.7	54.7

まなぶさん: 男子の令和3年度は、一番よいときと比べて、( ① ) 点下がっているね。

みくさん: 本当だ。グラフだとよくわかるね。令和元(1)年度から令和3年度と同じ下がりぐあいだと、男子は令和5年度には( ② ) 点になってしまうことが予想されるね。

問題1

【資料1】を見て、まなぶさんとみくさんの発言の①、②に最もあてはまるものを、①はア～エから、②はオ～クからそれぞれ1つずつ選びましょう。

<解答らん> ①  ②

<出題のねらい>

資料から情報を読み取り、自分自身に関することに関心や疑問をもち、これから調べていく課題等を明確にすることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」…疑問をもち、課題を明確にする。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

児童が自らの課題を見いだすために、身近なできごとに関心をもつことは大切です。例えば算数では、身近な話題からそういった児童の思考を促すことができるような場面設定や教師の発問・資料提示を取り入れていきましょう。加えて、児童が課題に対して見通しをもって取り組めるような指導の工夫を進めていきましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	エ 1.9 54.4-52.5=1.9 (男子の最高値 H22-R3)	エ
2	ア 1.1 54.4-52.5 (立式は○だが、繰り下がり計算で誤り)	ア
3	イ 1.2 55.9-54.7=1.2 (女子の値と間違えている)	イ
4	ウ 1.7 54.2-52.5=1.7 (男子の最高値を H30 としている)	ウ
0	無解答	—

個票への記述
資料から読み取った情報を正しく選ぶことができている。これから考えていく課題を明確にし、見通しをもって自ら学ぶ気持ちをもつことが大切です。
資料から必要な情報は読み取ることができていますが、くり下がりの計算ができていません。くり下がりをきちんと確認して計算するとよいでしょう。
資料には多くの情報がふくまれています。その中から必要な情報を読みとることが大切です。表やグラフから必要な情報を読み取っているか確認しましょう。聞かれていることに正しく答えているか、よく確認しましょう。
資料には多くの情報がふくまれています。その中から必要な情報を読みとることが大切です。表やグラフから必要な情報を読み取っているか確認しましょう。聞かれていることに正しく答えているか、よく確認しましょう。
資料には多くの情報が含まれています。その中から必要な情報を読みとることが大切です。表やグラフから必要な情報を読み取っているか確認しましょう。あきらめずによく考えて答えましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(1) ②	選択式	3分	易

未来小学校の6年生に、「新体力テスト」の結果について先生からお話がありました。

先生: 次のグラフは、今年度の全国の結果です。みなさんはこれを見て、どんなことに気づきますか。

【資料1】体力合計点の年度ごとの変化

年度	男子 (点)	女子 (点)
平成20	54.9	54.2
平成21	54.6	54.2
平成22	54.9	54.4
平成24	54.9	54.1
平成25	54.7	53.9
平成26	55.0	53.9
平成27	55.2	53.8
平成28	55.5	53.9
平成29	55.7	54.2
平成30	55.9	54.2
令和1	55.6	53.6
令和3	54.7	52.5

まなぶさん: 男子の令和3年度は、一番よいときと比べて、( ① ) 点下がっているね。

みくさん: 本当だ。グラフだとよくわかるね。令和元(1)年度から令和3年度と同じ下がりぐあいだと、男子は令和5年度には( ② ) 点になってしまうことが予想されるね。

問題1

【資料1】を見て、まなぶさんとみくさんの発言の①、②に最もあてはまるものを、①はア～エから、②はオ～クからそれぞれ1つずつ選びましょう。

<解答らん> ①  ②

<出題のねらい>

資料から情報を読み取り、自分自身に関することに興味や疑問を持ち、これから調べていく課題等を明確にすることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」…疑問をもつ。課題を明確にする。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

児童が自らの課題を見いだすために、身近なできごとに疑問をもつことは大切です。例えば算数では、身近な話題からそういった児童の思考を促すことができるような場面設定や教師の発問・資料提示を取り入れていきましょう。加えて、児童が課題に対して見通しをもって取り組めるような指導の工夫を進めていきましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	オ 51.4 53.6 (R元) - 52.5 (R3) = 1.1 52.5 (R3) - 1.1 = 51.4 (R5)	オ
2	カ 53.1 ※H30 から引いている 54.2 (H30) - 1.1 = 53.1	カ
3	キ 53.6 ※たし算とひき算をまちがえている 52.5 (R3) + 1.1 = 53.6	キ
4	ク 53.8 ※計算の手順は正しいが、女子の値である 55.6 (R元) - 54.7 (R3) = 0.9 54.7 (R3) - 0.9 = 53.8	ク
0	無解答	—

個票への記述
資料から読み取った情報を正しく選ぶことができている。これから考えていく課題を明確にし、見通しをもって自ら学ぶ気持ちをもつことが大切です。
資料には多くの情報がふくまれています。グラフの値を読みまちがえています。表やグラフから必要な情報を読み取っているか確認しましょう。聞かれていることに正しく答えているか、よく確認しましょう。
資料には多くの情報がふくまれています。グラフの値は正しく読み取れましたが、計算がまちがっています。聞かれていることをよく確認して式を立てましょう。
資料には多くの情報がふくまれています。必要な値を読みまちがえています。表やグラフから必要な情報を読み取っているか確認しましょう。聞かれていることに正しく答えているか、よく確認しましょう。
資料には多くの情報がふくまれています。その中から必要な情報を読みとることが大切です。表やグラフから必要な情報を読み取っているか確認しましょう。あきらめずによく考えて答えましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(2)	選択式	3分	普通

次に、未来小学校の新学期カテストの結果を見ました。それぞれの種目について、全国の平均と比べてみました。

**みくさん**  
未来小学校は、男子も女子も、大きな課題があると先生に聞いたよ。わたしたちのグループは、男子の結果について、次の3つの種目を比べてみることにしたよ。

**問題 2**  
下の【資料2】から読み取ることができる内容について、あてはまるものを次のア～オの中から2つ選びましょう。

2個選んでください

種目	性別→ 学年→	男子					
		1	2	3	4	5	6
長座体前くつ (cm)	本校	26.6	28.7	30.3	32.9	35.6	37.6
	全国	26.5	27.7	29.7	31.0	33.4	35.7
立ち幅とび (cm)	本校	98	121	133	140	151	162
	全国	114	126	136	144	155	165
ソフトボール投げ (m)	本校	7.6	9.9	15.6	15.2	23.0	23.0
	全国	8.2	11.5	15.6	18.9	22.9	26.6

ア 長座体前くつは、全学年で、全国の結果を上回っている。

イ 未来小学校の立ち幅とびの記録は、1つ上の学年との差が一番大きいのは2年と3年の間である。

ウ 立ち幅とびは、全国に比べて、全ての学年で5cm以上、下回っている。

エ 未来小学校の6年生のソフトボール投げの記録は、未来小学校の1年生の記録の3倍以上である。

オ ソフトボール投げの記録が全国を上回っている学年は全校の1/3である。

<出題のねらい>

資料から情報を読み取り、自分自身に関することについて改めて疑問をもち、課題を明確にすることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」…疑問をもち。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

児童が自らの課題をより具体的に見いだすためには、課題に焦点をあてるのが大切です。算数では、表など複数の情報から、今回課題となっている内容を見つけ出すなどの学習活動を工夫してみましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	ア 長座体前屈は全学年で全国平均より上である。 エ ソフトボール 6年 23.0m 1年 7.6m × 3 = 22.8m → 6年は3倍以上である。	ア (○) エ (○)
2	ア (○) イ 立ち幅跳びの学年間の差が一番大きいのは1・2年 ウ 立ち幅跳びの差は3cmからである (× 5cm以上) オ ソフトボール投げが上回っているのは5年のみ (× 3分の1 ○ 6分の1)	ア (○) イ、ウ、オ、無解答 (×)
3	イ 立ち幅跳びの学年間の差が一番大きいのは1・2年 ウ 立ち幅跳びの差は3cmからである (× 5cm以上) オ ソフトボール投げが上回っているのは5年のみ (× 3分の1 ○ 6分の1) エ (○)	イ、ウ、オ、無解答 (×) エ (○)
4	イ 立ち幅跳びの学年間の差が一番大きいのは1・2年 ウ 立ち幅跳びの差は3cmからである (× 5cm以上) オ ソフトボール投げが上回っているのは5年のみ (× 3分の1 ○ 6分の1)	ア以外または無解答 (×) エ以外または無解答 (×)
9	上記以外の解答	例：3つ以上選択している
0	無解答	—

個票への記述
資料から読み取った情報を正しく選ぶことができている。これから考えていく課題を見つけ、見通しをもって自ら学ぶ気持ちをもつことが大切です。
小数の数値の大小の比かくは正しくできましたが、かけ算をともなった数値の比かくが正しくできませんでした。数値を比かくする際に計算が必要なときは、よく見直して、正しく計算できているか確認しましょう。
かけ算をともなった数値の比かくが正しくできましたが、小数の数値の大小の比かくは正しくできませんでした。複数の数値を比べるときは、一つ一つよく確認しましょう。
あたえられた条件に合わせて、表やグラフから必要な情報を読み取っているか確認しましょう。
あたえられた条件に合わせて、表やグラフから必要な情報を読み取っているか確認しましょう。
あたえられた条件に合わせて、表やグラフから必要な情報を読み取っているか確認しましょう。あきらめずに取り組んでいきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(3)	選択式・短答式	3分	易

**みくさん**

他のグループの話も聞いてみると、未来小学校はどの学年も、男女それぞれ課題があるとわかったよ。みんなで話し合った結果、男子の立ち幅とびがいちばんの課題であるということになったよ。

【資料2】全国の結果の平均と未来小学校の結果の平均 ※立ち幅とびを取り出しています。

種目↓	性別→ 学年→	男子					
		1	2	3	4	5	6
立ち幅とび (cm)	本校	98	121	133	140	151	162
	全国	114	126	136	144	155	165

＜みくさんたちのまとめた理由＞

- 【資料2】から、未来小学校の男子の結果は、立ち幅とびが全ての学年で全国平均を下回っている。
- 学年で見ると、いちばん差が大きいのは( ① )年生で、全国よりも( ② ) cm低くなっている。

**問題3**

みくさんたちは、「いちばんの課題は、男子の立ち幅とびだ」とした理由を左のようにまとめました。

＜みくさんたちのまとめた理由＞を読み、①にあてはまる数を選びましょう。また、②にあてはまる数を入力しましょう。

＜解答らん＞

①

②

＜出題のねらい＞

いくつかの課題の中から、中心的な課題を設定する際に、資料から情報を読み取り、自分の考えの根拠について、客観的なデータを正確に示し、明確にすることができるかどうかをみる。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「見いだす」…課題を明確にする。

＜学習の基盤となる資質・能力＞ 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

＜授業改善の視点＞

資料の中から中心となる課題に焦点をあて、自ら課題を設定し、解決するための方法を考えることが大切です。そのために、客観的なデータなどを用いて自分の考えの根拠を示して、課題をさらに焦点化し、その課題を解決するための方法に対して見通しを持たせるように指導の工夫を進めましょう。



＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	○1年：114－98＝16 cm 2年：126－121＝5 cm 3年：136－133＝3 cm 4年：144－140＝4 cm 5年：155－151＝4 cm 6年：165－162＝3 cm	① 1 ② 16、十六、※cmが付いている場合も○とする。
2	①学年は正しい ②全国との差について計算は正しいが誤った単位を付けている	① 1 ② 16m など
3	①学年は正しい ②全国との差について計算ミスをしている	① 1 ② 16 以外の数字または無解答 (x)
4	①学年は正しい ②数字以外を入力している	① 1 ② 数字以外を入力している
5	①学年を間違えている ②全国との差については正しく計算している	① 1 以外の数字または無解答 (x) ② 16
6	①学年、②全国との差の計算の両方を間違えている	① 1 以外の数字または無解答 (x) ② 16 以外の数字または無解答 (x)
9	上記以外の解答	① 1 以外の数字または無解答 (x) ② 数字以外を入力している (x)
0	無解答	—

個票への記述
資料から必要な情報を正しく選び、自分の考えの根拠について、正しい数値を示すことができます。これから考えていく課題を明確にし、見通しをもつことができました。
資料から必要な情報を正しく選び、自分の考えの根拠について、正しい数値を示すことができましたが、単位をまちがえています。cm、mなど、よく確かめてから答えましょう。
資料から必要な情報に着目することはできましたが、計算のまちがいがあります。自分の考えの根拠を示すときは、正しいデータが必要なので、計算方法を見直し、正確な値を示しましょう。
資料から必要な情報に着目することはできましたが、聞かれていることに正しく答えることができませんでした。問題文や条件についてよく読んで、必要なことを答えるようにしましょう。
資料が何について示しているのかを、よく確かめましょう。聞かれていることについて、必要な情報を読み取ることができるようにしましょう。表やグラフが伝えていることを言葉で説明してみるとよいです。
資料が何について示しているのかを、よく確かめましょう。聞かれていることについて、必要な情報を読み取ることができるようにしましょう。表やグラフが伝えていることを言葉で説明してみるとよいです。
資料には多くの情報がふくまれています。その中から必要な情報を読みとることが大切です。表やグラフから必要な情報を読み取って確認しながら言葉で表現してみましょう。
資料に示された情報を正しく読み取るようにしましょう。どのような情報について示されているか、気づいたことをメモしたり、友達と伝え合ったりしてみるとよいでしょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(4)	選択式	3分	普通

**問題 4**

まなぶさんたちは、もらったアドバイスをまとめていくことにしました。体の動かし方のコツを伝えるには、どのアドバイスを使うとよいですか。適切なものを、下のア～カの中からすべて選びましょう。

<input type="checkbox"/> <b>ア</b> <陸上部の中学生①> 「手を前にふるタイミングに合わせてジャンプすることが大事だね。」	<input type="checkbox"/> <b>イ</b> <体育の先生> 「ひざを十分に曲げてはねのようにのばすといいよ。」
<input type="checkbox"/> <b>ウ</b> <陸上部の中学生②> 「いっしょうげんめいとぶだけ。」	<input type="checkbox"/> <b>エ</b> <陸上部の高校生> 「ジャンプした後、空中でひざをかかえこむようにしているよ。」
<input type="checkbox"/> <b>オ</b> <中学生のせんぱい> 「やればできる。」	<input type="checkbox"/> <b>カ</b> <6年生の幅とびの選手> 「両足で思い切りふみ切って、両足で着地をするよ。」

<出題のねらい>

インタビューの内容を読んで、自分たちが伝えたいことは何なのか判断して、必要な情報を取捨選択する力がついているかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」…情報を収集し調べる

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

自分たちの探究のためにどんな情報を得ようとしているのか、目的をはっきりとをもって、インタビューするとよいでしょう。そのうえで、自分たちの調査に必要な情報はどれか判断し、他者に伝える力を養うようにしていきましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	ア 腕の動きについて イ 膝の動きについて エ 空中の動きについて カ 踏み切りと着地の足について ※体の動かし方についてすべて選んでいる。	アイエカ (完答)
2	体の動かし方についてのアドバイス (ア、イ、エ、カ) をすべて選んでいない。	アイエカのうちのいずれか1つ～3つが不足 (正答であるが不足)
3	ウおよびオ 気持ちについて ※体の動かし方のアドバイス (ア、イ、エ、カ) はすべて選べたが、気持ちに関するアドバイスも選んでいる。	アイエカと、ウオのいずれかまたは両方 (すべての正答+誤答)
4	体の動かし方についてのアドバイス (ア、イ、エ、カ) をすべて選んでいない。さらに、気持ちに関するアドバイス (ウ、オ) も選んでいる。	アイエカのうちのいずれかまたは両方 (正答であるが不足+誤答)
5	気持ちに関するアドバイス (ウ、オ) を選んでおり、体の動かし方についてのアドバイスを選ばなかった。	ウオのいずれかまたは両方 (誤答のみ)
0	無解答	—

個票への記述
複数のインタビューの中から、必要な情報を選ぶことができます。これからも、必要な情報を判断し、他者に伝える力をのばしていきましょう。
大切な情報を選んでいますが、すべて選ぶことができませんでした。必要な情報を選ぶときは、条件に合わせて、よく確認し、必要な情報が残っていないか考えてみましょう。
必要な情報をすべて選ぶことができましたが、必要のないものも選んでしまいました。必要な情報を選ぶときは、条件に合わせて、よく確認しましょう。
大切な情報を選んでいますが、すべて選ぶことができませんでした。必要な情報を選ぶときは、条件に合わせて、よく確認し、必要な情報が残っていないか考えてみましょう。
必要な情報を選ぶときは、条件に合わせて、よく確認し、必要な情報が残っていないか考えてみましょう。
必要な情報を選ぶときは、条件に合わせて、よく確認してみましょう。あきらめずに取り組むことが大切です。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(5)	選択式	3分	難


問題 5

まなぶさんたちは、1回目の動画を作成したあとに、アドバイスのおりにできているか、動画を見て話し合い、2回目の動画を作成しました。2つの動画を見比べて、どのアドバイスを使って直したのか考え、あてはまるものを下のア〜カから1つ選びましょう。

1回目



2回目



○ア <陸上部の中学生①>  
「手を前にふるタイミングに合わせてジャンプすることが大事だね。」

○エ <陸上部の高校生>  
「ジャンプした後、空中でひざをかかえこむようにしているよ。」

○イ <体育の先生>  
「ひざを十分に曲げて、ばねのようにのばすといいよ。」

○オ <中学生のせんばい>  
「やればできる。」

○ウ <陸上部の中学生②>  
「いっしょうけんめいとふだけ。」

○カ <6年生の稲とびの選手>  
「両足で思い切りふみ切って、両足で着地をするよ。」

<出題のねらい>

自分たちが調べたことを、他者によりわかりやすく伝えるために、アドバイスをもとに、適切な内容に修正しているかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」…情報を収集し調べる 自分の考えを形成する

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

他者にわかりやすく伝えるためにどうすればよいか考えることはとても大切です。体育科の学習で、友達同士で技を見合っ、アドバイスをし合うこともできます。具体的なアドバイスを使って作成した2つの動画を見て、その違いを見いだすなどの活動もよいでしょう。さらに、作成したものを見直して、よりわかりやすくするにはどうすればよいか、見直し活動も大切です。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 腕の動きについてのアドバイスを選んでいる。	ア
2	膝の動きについてのアドバイスを選んでいる。	イ
3	空中の動きについてのアドバイスを選んでいる。	エ
4	踏み切りと着地についてのアドバイスを選んでいる。	カ
5	気持ちについてのアドバイスを選んでいる。	ウ・オのいずれか
0	無解答	—

個票への記述
2つの動画を見比べて、付け加えられたアドバイスを選ぶことができました。映像 [えいぞう] と文をつなげて比べる力、よりよくするために必要なことを考える力がついています。
複数の資料を比べるときには、どこが同じで、どこがちがうかよく見比べてみましょう。伝えたいことに合っているかどうかについて、確認していくとよいでしょう。
複数の資料を比べるときには、どこが同じで、どこがちがうかよく見比べてみましょう。伝えたいことに合っているかどうかについて、確認していくとよいでしょう。
複数の資料を比べるときには、どこが同じで、どこがちがうかよく見比べてみましょう。伝えたいことに合っているかどうかについて、確認していくとよいでしょう。
複数の資料を比べるときには、どこが同じで、どこがちがうかよく見比べてみましょう。伝えたいことに合っているかどうかについて、確認していくとよいでしょう。
複数の資料を比べるときには、どこが同じで、どこがちがうかよく見比べてみましょう。伝えたいことに合っているかどうかについて、根気よく探していきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(6)	記述式	5分	難

**問題 6**

まなぶさんたちは、【説明】の文を1年生にもよくわかるように、2つ点から表現をくふうして、次のように書きかえました。まなぶさんたちの2つの表現のくふうについて、どこをどのようにくふうしたのかわかるように、具体的に説明しましょう。2つのくふうは、下の解答らんの【表現のくふう①】と【表現のくふう②】に、それぞれ25字以内で入力しましょう。(①と②の答えの順序は問いません。)

【書きかえる前の文】

【説明】  
スピードをつけて、うでをふり上げながら、ひざをのびして両足でジャンプします。

↓

【まなぶさんたちが書きかえた文】

【説明】  
スピードをつけて、ばんざいをするみたいにグンとうでをふり上げながら、ひざをばねのようにのびして両足でヒュンッとジャンプします。

【解答らん】  
それぞれ25字以内で入力しましょう。

【表現のくふう①】  【表現のくふう②】

<出題のねらい>

動画の内容を説明する文章について、相手意識をもって作成し、わかりやすく伝える文章を書いているかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」…自分の考えを伝える。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

同じ内容でも、伝える相手によって使う言葉や表現を変えた方がよいということ、理解はしていても、実際に相手を意識して文章で説明するという経験は少ないと考えられます。まずは、相手に応じて言葉や表現を考えて話をする経験を多く積みませましょう。その上で、短文を相手に応じてわかりやすく説明する場面を多くとるとよいでしょう。さらに、図工の絵や家庭科の作品などを説明させると教科等横断的な学習になります。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
	条件 a: 変更された箇所を取り上げ、そのねらいについてふれている。(「みたいに」「ように」「例え(比喩)」) b: 変更された箇所を取り上げ、そのねらいについてふれている。(「グン」「ヒュン」「様子(動き)」を表す) c: 字数を守っている。	
1	◎ a、b、c すべて条件に合っている。	①「みたいに」「ように」という例えの表現を使った(24字) ②「グン」「ヒュン」という様子を表す言葉を使った(23字)
2	○ a、bは条件に合っているが、いずれか一方について、cの条件が合わない。	解答類型1及び3を参照
3	○ a、bは条件に合っているが、いずれもcの条件が合わない。	①「みたいに」「ように」という例えの表現を使ってくわしくした(29字) ②「グン」「ヒュン」という様子を表す言葉を使ってくわしくした(29字)
4	○ aは条件のとおり書いている。bが条件に合わない。	①「みたいに」「ように」という例えの表現を使った(24字) ②カタカナを使ってくふうして書きかえている(20字)
5	○ aが条件に合わない。bは条件のとおり書いている。	①長くして言葉をつけ足してくわしくしている(20字) ②「グン」「ヒュン」という様子を表す言葉を使った(23字)
9	上記以外の解答	・長くして言葉をつけ足してくわしくしている(20字) ・カタカナを使ってくふうして書きかえている(20字)
0	無解答	—

個票への記述
学習した言葉を使って相手に合わせて言葉を変え、具体的に説明できています。伝える相手によって自分が使う言葉がちがうことを理解できていてすばらしいです。
学習した言葉を使って相手に合わせて言葉を変え、具体的に説明できています。伝える相手によって自分が使う言葉がちがうことを理解できていますが、字数を条件に合わせて書くように練習しましょう。
学習した言葉を使って相手に合わせて言葉を変え、具体的に説明できています。伝える相手によって自分が使う言葉がちがうことを理解できていますが、字数を条件に合わせて書くように練習しましょう。
比喩表現についてはよく理解できています。動きや様子を表す表現について、どのような言葉を使うと動きや様子をくわしく表すことができるかを調べて使ってみましょう。
動きや様子を表す表現についてはよく理解できています。比喩表現について、「みたいに」「ように」といった言葉を使うとわかりやすいので、調べて使ってみましょう。
どこをどのように書きかえたのか、具体的に書き出してみよう。比喩表現や、動きや様子を表す表現についてそれぞれどのような言い方や使われ方をしているのか、調べてみましょう。
どこをどのように書きかえたのか、具体的に書き出してみよう。比喩表現や、動きや様子を表す表現についてそれぞれどのような言い方や使われ方をしているのか、調べてみましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(7)	選択式	3分	普通

**問題 7**  
1年生男子の記録がどのくらいよくなったかをわかりやすく知らせるには、どのグラフがよいでしょう。みくさんの考えの①に、最もあてはまるグラフを次のA～Cの中から1つ選びましょう。また、②にはその理由としてあてはまるものを下の【理由】のA～Eの中から1つ選びましょう。

**A**

校内のみんなに1年生の記録がのびたことをわかりやすく知らせるには、( ① )のグラフがよいね。なぜなら、他の2つと比べると( ② )からだよ。

みくさん

**【理由】**

A 全体の記録を、わり合の大きい順に見やすくして並べている

イ 一人一人の記録の変化がわかりやすい

ウ それぞれの月の記録を月ごとにわかりやすくまとめている

E 2回の記録を直接並べて比べやすくしている

①  ②

<出題のねらい>

グラフの特徴やその使い方を理解し、伝えたいことに合わせて活用できているかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」…自分の考えを伝える

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

身近なところからデータを収集し、伝えたい情報に合わせてグラフを選択し、自分の気づいたことや考えたことを表現することは、問題解決活動につながっていきます。算数だけでなく、他教科でも生活の中でも、グラフを活用している場面に気づかせることも大切です。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ ①B 10月と3月のグラフを直接並べている ②E Bのグラフについての内容である	①B ②E (完答)
2	①B 10月と3月のグラフを直接並べている ②A Aのグラフについての内容である イ 折れ線グラフのことであり、あてはまるグラフがない。 ウ Cのグラフについての内容である。	①B ②E以外または無解答
3	①A 10月と3月の記録を混ぜて、割合の大きい順にしているため、比べにくい。 C 10月と3月のグラフを別々にしているため、Bよりも同じ記録ごとに見比べにくい ②E Bのグラフについての内容を述べている	①B以外または無解答 ②E
4	①A 10月と3月の記録を混ぜて、割合の大きい順にしているため、比べにくい。 C 10月と3月のグラフを別々にしているため、Bよりも同じ記録ごとに見比べにくい ②A Aのグラフについての内容である イ 折れ線グラフのことであり、あてはまるグラフがない。 ウ Cのグラフについての内容である。	①B以外または無解答 ②E以外または無解答
0	無解答	—

個票への記述
ぼうグラフの特ちょうや活用の仕方を理解しています。目的にあったグラフを選ぶことができました。他の種類のグラフについても、特ちょうをつかみ、活用していけるようにしましょう。
目的にあったグラフを選ぶことができました。グラフの特ちょうについて、他のグラフとのちがいに着目して言葉で説明してみるとよいでしょう。
伝えたいことに合わせたグラフを選べるようにしましょう。また、いろいろなグラフの特ちょうについて、他のグラフとのちがいに着目して言葉で説明してみるとよいでしょう。
伝えたいことに合わせたグラフを選べるようにしましょう。また、いろいろなグラフの特ちょうについて、他のグラフとのちがいに着目して言葉で説明してみるとよいでしょう。
伝えたいことを考えて、どのようなグラフを活用したらよいかを考えて、まず解答してみましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(8)	選択式・短答式	3分	難

**問題 8**

まなぶさんたちは、自分たちのくふうを4つにまとめようとしています。まなぶさんたちの活動をふりかえり、**【A】**は下の【くふう②】のA～Eの中から最もふさわしいものを1つ選び、【くふう③】**【B】**は15字以内で自分の言葉で考えて入力しましょう。

**【くふう①】**  
上手な人に、コツを聞くとよい。

**【くふう②】**  
動きのあるもののコツを伝えるには、**【A】**があるとよい。

**【くふう③】**  
1年生に説明するときは、**【B】**とよい。

**【くふう④】**  
データを示して、どのくらいのびたかわかりやすく伝えたと取り組みのよさがわかってよい。

**【くふう②】 A**

A 写真や説明

B 動画やグラフ

C 説明やグラフ

D 動画や説明

**【くふう③】 B**

これまでの活動をふりかえって、気づいたことを思い出すといいね。



まなぶさん

<出題のねらい>

今までの学習活動を振り返り、調べたことやわかったことについて適切にまとめることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「まとめあげる」…思考の過程を振り返る。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

学習したことを振り返り、調べたことや気づいたことを整理しながら、身に付いた力を児童が自ら気づくことができるように指導しましょう。その際は、学習内容を振り返って自分の言葉でまとめとして書かせるとよいでしょう。他教科でも同じように振り返りを行うことで、さらに定着を促し、次の課題設定や学習活動に生かすことができるようになります。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	A 工 動画と説明でコツを伝えていた B キーワードとして、「わかる言葉」「書く」を使っている。 ※「わかる」→「簡単な」「易しい」等、同様の内容なら○ ※「書く」→「伝える」「話す」等、同様の内容なら○	A○工 B○わかる言葉を使って書く (11字)
2	A 工 動画と説明でコツを伝えていた B 「わかる言葉」「書く」のキーワードが使われていない。	A○工 B×いっしょに動いてあげる (11字)
3	A 工 動画と説明でコツを伝えていた B キーワードとして、「わかる言葉」「書く」は使っていたが、字数がオーバーしている	A○工 B×1年生がわかる易しい言葉を使って書く (18字)
4	A 工 動画と説明でコツを伝えていた B キーワード、字数のいずれも条件に合わない。	A○工 B×いっしょに動いてあげるのがいちばんよい (19字)
5	A 写真はこの学習で使っていない。グラフは結果について使っていて、伝え方のときではない。 B キーワードとして、「わかる言葉」「書く」を使っている。 ※類語については、類型1を参照。	A×工以外または無解答 B○わかる言葉を使って書く (11字)
6	A 写真はこの学習で使っていない。グラフは結果について使っていて、伝え方のときではない。 B キーワードとして、「わかる言葉」「書く」は使っていたが、字数がオーバーしている	A×工以外または無解答 B×1年生がわかる易しい言葉を使って書く (18字)
7	A 写真はこの学習で使っていない。グラフは結果について使っていて、伝え方のときではない。 B 「わかる言葉」「書く」のキーワードが使われていない。	A×工以外または無解答 B×いっしょに動いてあげる (11字)
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
伝え方には様々な方法があります。動画と言葉を組み合わせる伝えるよさと、相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさについて理解できました。
伝え方には様々な方法があります。動画と言葉を組み合わせる伝えるよさについて理解できました。表現のくふうについても、どのような言葉が相手にわかりやすいかを考えて、実際に使ってみましょう。
伝え方には様々な方法があります。動画と言葉を組み合わせる伝えるよさと、相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさについて理解できましたが、条件に合わせて説明できると、なおよいでしょう。
伝え方には様々な方法があります。動画と言葉を組み合わせる伝えるよさについて理解できました。表現のくふうについても、どのような言葉が相手にわかりやすいかを考えてみましょう。また、条件を確かめて答えるようにしましょう。
伝え方には様々な方法があります。相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさについて理解できました。動きのあるもののコツを伝えるには、動画と言葉を組み合わせるとよりわかりやすくなります。
相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさについて理解できましたが、条件に合わせて説明できると、よいでしょう。動きのあるもののコツを伝えるには、動画と言葉を組み合わせるとよりわかりやすくなります。
伝え方には様々な方法があります。相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさや、動画と言葉を組み合わせるとよりわかりやすくなることについて、考えていきましょう。
伝え方には様々な方法があります。相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさや、動画と言葉を組み合わせるとよりわかりやすくなることについて、考えていきましょう。
まずは問題文をじっくり読み、何を答えればよいか、きちんとつかみましよう。わからなければ、何度もくり返し読みましよう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
6年	(9)	選択式	2分	普通

**問題 9**

まなぶさんたちは、ソフトボール投げの体の動かし方のコツを伝えることにしました。【資料4】を見て、立ち幅跳びの4つのくふうを生かし、コツを伝えるために大切なことについて、下のまなぶさんの①、②にあてはまる言葉を、次のア～オから2つ選びなさい。(答えの記号の順序は問いません。)

**【資料4】 コツを伝えるときの4つのくふう**

【くふう①】  
上手な人に、コツを聞くとよい。

【くふう②】  
動きのあるもののコツを伝えるには、があるときよい。

【くふう③】  
1年生に説明するときは、とよい。

【くふう④】  
データを示して、どのくらいびたかわかりやすく伝えると取り組みのよさがわかってよい。

ソフトボール投げの体の動かし方のコツを伝えるときに大切なのは、  
( ① ) と ( ② ) だね。

まなぶさん

ア 上手な人にインタビューし、専門用語を使って、説明すること

イ 動画を使って、ボールの持ち方や投げ方を見せること

ウ 「遠くまでべい」と心の中で騒ぐこと

エ ボールを投げる楽しさやおもしろさを伝えること

オ みんなにわかりやすい言葉を使って、説明すること

<出題のねらい>

資料から情報を読み取り、新たな課題について、学習したことを生かして、解決の見通しをもつことができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「まとめあげる」…思考の過程を振り返る。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

新たな課題について、学習したことを生かして、解決していこうとする児童を育てていくようにしましょう。そういった児童の思考を促すことができるような教師の発問や適切な資料提示、既習事項の確認などを効果的に取り入れていきましょう。そして疑問を持ったことについてどのように解決していくのか、見通しをもたせることで、児童が探究的に学習を進めることができるように指導を工夫していきましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	イ 立ち幅跳びでも動画を使って体の動き方を視覚的に伝えていた。 オ 立ち幅跳びでもわかりやすい言葉に書きかえて伝えていた。	イ、オ (順不同、完答)
2	イ 立ち幅跳びでも動画を使って体の動き方を視覚的に伝えていた。 ア 専門用語は使っていない。1年生にわかる言葉にしていた。 ウエ 体の動かし方を伝えることが目的なので、気持ちや感じ方を伝えることではない。	イ と オ以外で2つ
3	オ 立ち幅跳びでもわかりやすい言葉に書きかえて伝えていた。 ア 専門用語は使っていない。1年生にわかる言葉にしていた。 ウエ 体の動かし方を伝えることが目的なので、気持ちや感じ方を伝えることではない。	イ以外と オで2つ
4	イ 立ち幅跳びでも動画を使って体の動き方を視覚的に伝えていた。 オ 立ち幅跳びでもわかりやすい言葉に書きかえて伝えていた。	イまたはオの いずれか1つ
5	ア 専門用語は使っていない。1年生にわかる言葉にしていた。 ウエ 体の動かし方を伝えることが目的なので、気持ちや感じ方を伝えることではない。	イ、オ以外で2つ
6	ア 専門用語は使っていない。1年生にわかる言葉にしていた。 ウエ 体の動かし方を伝えることが目的なので、気持ちや感じ方を伝えることではない。	イ、オ以外で1つ
9	上記以外の解答	例：3つ選んでいる
0	無解答	—

個票への記述
伝え方には様々な方法があります。動画と言葉を組み合わせるよさと、相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさについて理解できました。
伝え方には様々な方法があります。動画と言葉を組み合わせるよさについて理解できました。表現のくふうについても、どのような言葉が相手にわかりやすいかを考えて、実際に使ってみましょう。
伝え方には様々な方法があります。相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさについて理解できました。動きのあるもののコツを伝えるには、動画と言葉を組み合わせるとよりわかりやすくなります。
伝え方には様々な方法があります。相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさや、動画と言葉を組み合わせるとよりわかりやすくなることについて、聞かれていることをよく読み、条件に合わせて答えましょう。
伝え方には様々な方法があります。相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさや、動画と言葉を組み合わせるとよりわかりやすくなることについて、考えていきましょう。
伝え方には様々な方法があります。相手に合わせてわかりやすい表現をくふうするよさや、動画と言葉を組み合わせるとよりわかりやすくなることについて、考えていきましょう。
まずは問題文をじっくり読み、何を答えればよいか、きちんとつかみましょう。条件に合わせて答えることも大切です。
まずは問題文をじっくり読み、何を答えればよいか、きちんとつかみましょう。わからなければ、何度もくり返し読みましょう。